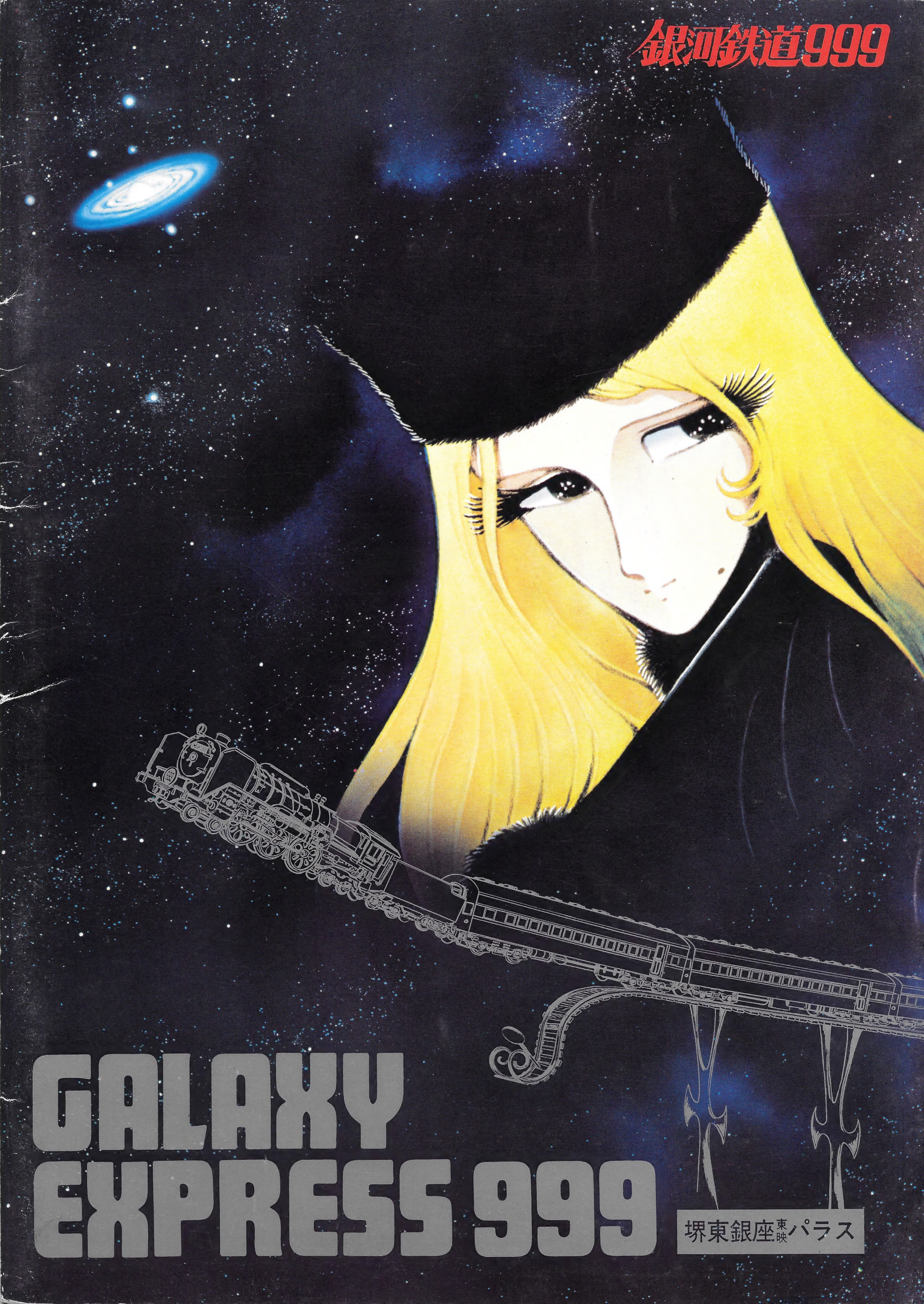
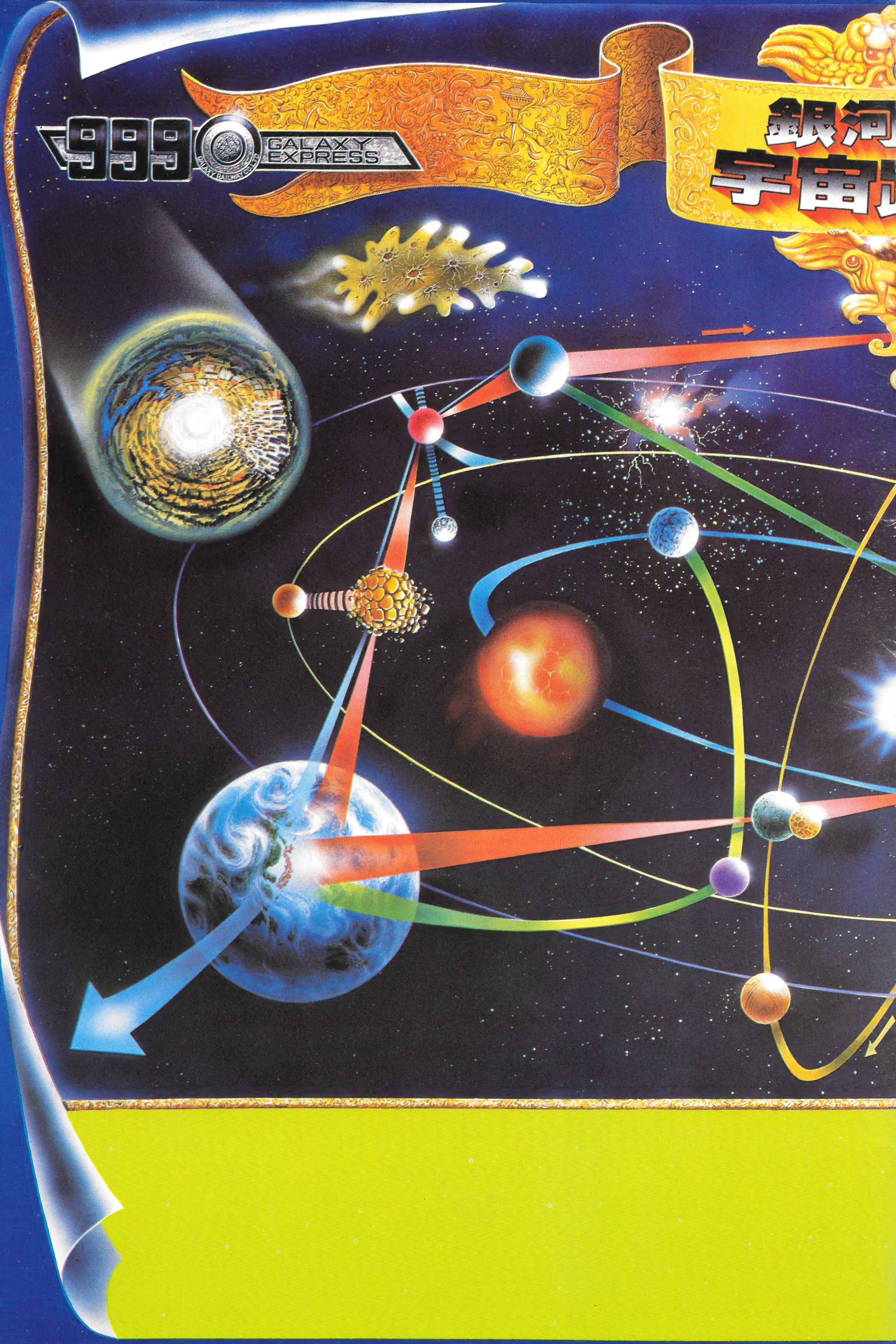

銀河鉄道999
GALAXY
EXPRESS 999
堺東銀座東映パラス


999
GALAXY
EXPRESS
銀河
宇宙



999-THE SYMBOL OF INCOMPLETE YOUTHFULNESS.
HE TURNS INTO UNENDING SLEEP IN PURSUIT OF HIS DREAM.
THE EXPRESS CONTINUES HER ENDLESS
JOURNEY TAKING HER DREAMS AND HOPES.
AND NOW, THE STEAM WHISTLE ECHOES.
GREETING THE NEW DEPARTURE OF A YOUNG MAN.
HE SAY GOOD-BY TO HIS YOUTHFUL DAYS.

GALAXY EXPRESS 999



PRODUCER MESSAGE

松本零士

アニメーションを作るのが、子供の頃からの僕の夢でした。それもメルヘンチックなものとＳＦ的なものを合体させた、ともかく、ものすごくあったかい“大漫画映画”が作りたかった。今度「銀河鉄道９９９」を作るというのは、その生涯の夢を果たす大仕事なのです。いつか僕がくたばったらこの汽車に乗ってどこかへ行くんだみたいな、非常に馬鹿らしくロマンチックな、それでも激しい感情をこの作品には持っているのです。

「銀河鉄道９９９」の中で僕は、残された時間、人間の“限りある命”を描こうと思います。人間の寿命の短かさとその中で頑張る人間ということで、鉄郎少年を設定しました。限りある命だから、人間は頑張り努力します。その願望を果すべく、残された時間を人間は動きまわるのです。それに対し、人間の夢みる不老不死の生命とは何なのか、無限の命を持って我々は一体何をしようというのでしょう。この映画の中ではそれを大上段に構えるのではなく、青春の前期（１５歳）の年齢である鉄郎が、やがて自立して一人前になっていく中で、彼にそれを実感させてやりたいのです。メーテルという女性は、そんな鉄郎にとって、思春期の願望と幻影、希望と夢そのものです。どんな男の子にも、思春期の思い出というものが胸の中に消えずに残っていて、それは一度通りすぎてしまえば、二度と戻らないもの、非常に切ないものです。その思春期に自分が思いをかけた幻影がメーテルなのです。彼女は映画の中に実在するが、もしかしたら鉄郎の心の中の幻影かもしれない、そして彼の一人立ちとともに、その青春の幻影は目の前から消えてしまうのです。

そういう鉄郎の成長の過程に、僕は波乱万丈の物語を用意しました。それも、ひとひねりふたひねりじゃ面白くない、また出たかとあとからあとからたたみかける映画の楽しさも味わっていただきたいし、その辺アニメだから、非常に自由にできるわけです。

僕のヒーロー、ヒロインの中でも、色々な意味で最も思いをかけられるのが、この鉄郎とメーテルです。それだけに、この映画は自分にとっても未来への、文字通り踏みはずすことのできないステップだと思っています。同時に、大勢のスタッフの血と汗の結晶であり、一同まさに青春をかけて頑張ってくれています。願わくば、このあと何作も、もっともっと良いものを作りたい、その大事な土台にしたいのです。ただ、結果については悔いを残さない、最善をつくしたのだから、どっちに転んでも後悔しないと開き直ってもいます。何よりも好きなメカニズムと共に、あたたかいメルヘンを共有した「銀河鉄道９９９」が今、スクリーンの中で動きだします。それに乗って、僕のアニメの旅も未来に向って始まろうとしているように思います。



解　説

無限の大宇宙をめざす素晴らしいロマンと冒険の旅。大いなる愛と希望と野心をたずさえて、いま新しい若者の夢ある旅がはじまろうとしている……。

果てしない宇宙空間を行く長距離列車《銀河鉄道９９９》号に乗って、次々とくりひろげる驚異と感動のアドベンチャー・トラベル。いまテレビで圧倒的な人気を誇っている松本零士の「銀河鉄道９９９」を母体にして、超スケールの劇場用映画として新たに構成された'79最高のSFアニメーションの話題大作である。

ストーリーは、全宇宙を覆う機械人間の猛威のさなか、愛する父母を殺された少年・星野鉄郎が、自分も千年以上の寿命を持つ機械人間となって復讐を遂げるために、アンドロメダ星をめざすところから展開。やがて知り合う謎の美女メーテルと共に、宇宙を走る銀河列車９９９号に乗って旅立つ。さまざまな冒険と闘いを経て、遂には父母の復讐を遂げた鉄郎が、さらにヒューマンな新しい目的にめざめて行くプロセスをドラマチックに追っている。

外見はC－62型の蒸気機関車だが、随所にハッとさせるアイデアをもりこみ、ラストには予想外の仕掛けが待ちかまえている。中身は耐エネルギー無限電磁バリヤーに守られた超近代化宇宙列車《９９９》号。そのユニークな着想がつむぎ出す素晴らしいアイデアフル・ストーリーに沿って、勇気ある冒険少年・鉄郎と、深い謎をふくんだ美女メーテルを中心に、さまざまな人物が登場する。機械人間の宇宙制覇を狙う機械伯爵とその王国、鉄郎に宇宙での生き方を教えるタイタン星の山賊首領アンタレス、銀河鉄道９９９の車掌、クリスタルガラスの身体を持つ９９９ウェイトレスのクレア、宇宙戦士トチロー、そしてさらには宇宙戦艦アルカディア号で星の海をさすらう宇宙海賊キャプテン・ハーロック、巨大な飛行船で宇宙を行く真紅の女海賊エメラルダスなどの魅力にみちた松本零士の世界のヒーローやヒロインたちが勢揃いして、冷酷非情の機械人間群に対して、愛と涙と血の温かさを守るヒューマンな人間たちの戦いをくりひろげ、スクリーンいっぱいに超スケールのスペース・ドラマを展開する。

スタッフは、「宇宙戦艦ヤマト」、「さらば宇宙戦艦ヤマト」の監督総設定を担当したアニメ界の第一人者・松本零士が、企画、原作、構成を受け持つのをはじめ、脚本に石森史郎、監督にりん・たろう音楽にニュー・ミュージックの人気グループ、ゴダイゴを、さらには監修に名匠・市川崑を迎えたベスト・メンバーを組んで万全を期している。

なお主人公の鉄郎は、テレビ・シリーズとは異り、年令設定も15歳に引きあげて、ユニークな青年像をつくり、多くのヤング・ファンの新しいアイドルとして登場。映画のラストで初めて真実の姿を現わす美女メーテルを、きわめてシンボリックな“愛の化身”として、感動的な美しい像をむすんでいる。

'79年夏。「宇宙戦艦ヤマト」に代って、日本中のヤングの間に、熱狂的な支持を生むＳＦアドベンチャー・アニメーションとして大きな話題を呼ぶことだろう。



ストーリー

広大無限の宇宙空間を驀進する銀河列車999。ひとはみなこの列車に乗って、それぞれの夢と希望を追い求める。そして今、愛と勇気と冒険心をたずさえて、一人の若者が旅立とうとしていた——。

999号が発着する地球メガロポリス・ステーションを中心とした超近代的な大都会とは、全く対象的にスラム化したダウンタウン。そこで星野鉄郎は、親のない一群の少年たちを率いて盗みを働き、飢えをしのいでいた。貧しい人間には決して買えない銀河鉄道全線の定期券を盗んで、機械人間のポリス群に追われた鉄郎を助けたのはメーテルという若く美しい女性。鉄郎は、メーテルがあまりにも亡き母に似ているのに驚いた。この謎めいた女性は、いったい何者なのだろう。

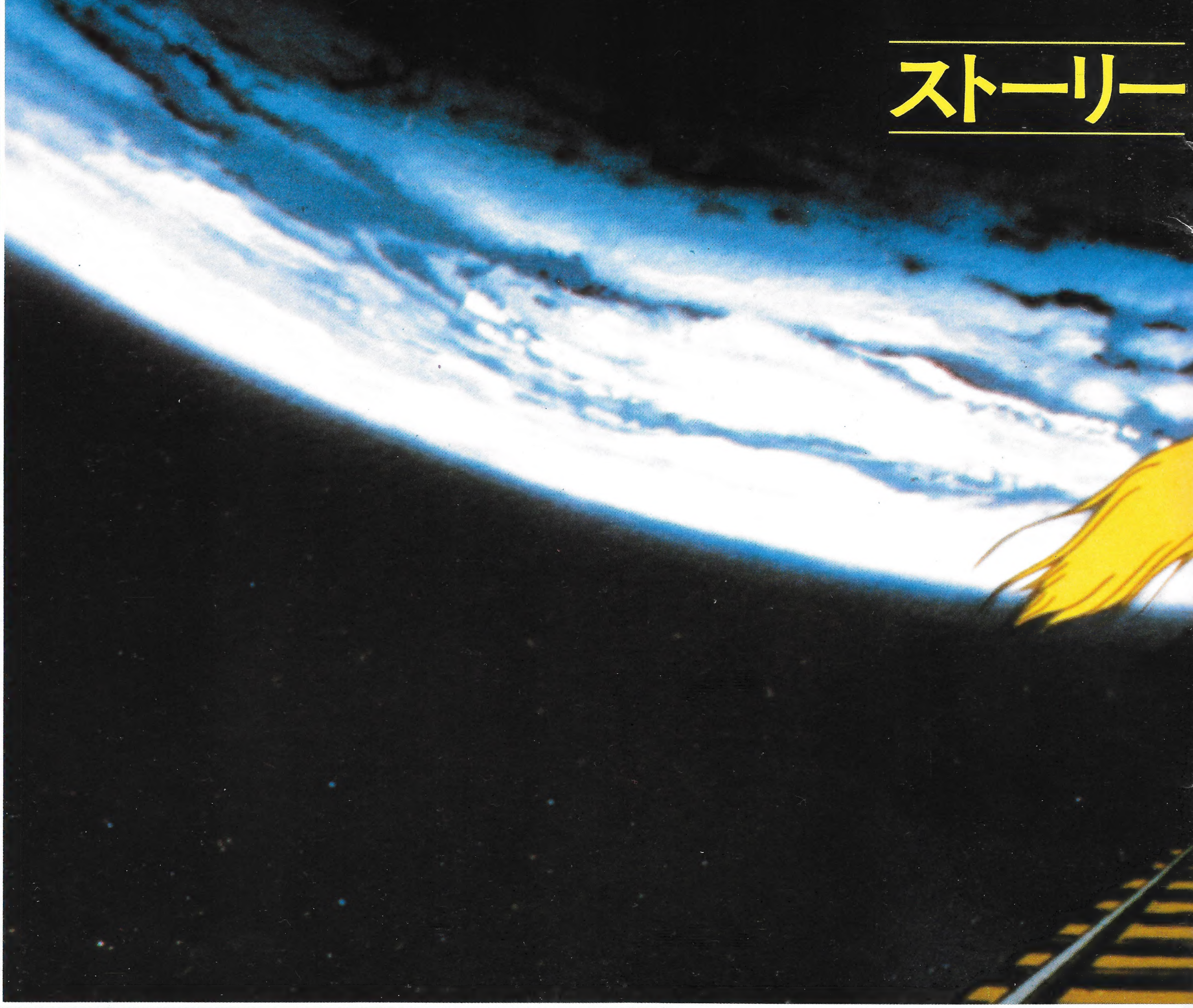
5年前、鉄郎が10歳の頃、機械伯爵が率いる人間狩りの一団に、愛する母親を殺され、その美しい肉体をハク製にされた。地球の金持ち人間たちは、競って機械の体を買い、千年の寿命を得たが、貧しい人たちはそれも出来ず、次々と殺されて行くだけだった。アンドロメダへ行けば永遠の命がもらえる。鉄郎は母の形見のペンダントを胸に、いつの日かアンドロメダ行きの銀河鉄道999号に乗ることを夢みていた——。

今、15歳の勇敢な少年となった鉄郎は、父と母の仇を討つためにキャプテン・ハーロックやエメラルダスのように宇宙の海へ自由に羽ばたきたかった。美しいメーテルは、鉄郎に999の乗車パスを贈り、二人は旅立った。肉眼では見えない無限軌道を進む999。はるか後方に遠ざかって行く地球。メーテルはなぜか、哀しい顔でつぶやいた。二度と帰ることのない旅……、と。

最初の停車駅は、土星の衛星のひとつタイタンだった。タイタンは太陽系で一番美しく恐ろしい星。百花繚乱、パラダイスのような街に降り立った途端、メーテルが胸を撃たれて宇宙戦闘服の男たちに連れ去られ、鉄郎は危ういところを、不思議な老女に救われた。やがて鉄郎はメーテルを探すため、老女から光線よけの帽子と銃を借りて、メーテルを奪った山賊のいるぶどう谷へ出発した。

山賊の首領アンタレスは、山のような巨漢で、数少い生身の人間だった。鉄郎が機械人間ではないこと、しかも親の仇である機械伯爵を討とうとしていることを知ったアンタレスは、同志として素直にメーテルを返してくれた。この広い宇宙のどこかに、憎い伯爵の住む時間城がある。その場所を知っているのは女海賊エメラルダスのみという。鉄郎は、老女の息子トチローの持物だった戦士の銃を抱いて、メーテルと共に再び999に乗り、迷いの星と言われる氷の惑星・冥王星に向った。

そこはすべてが氷に閉ざされていた。一面の氷原に立って涙を流すメーテル。その足もとの氷の下には、何千何百という数の死体が眠っていた。機械人間となった者たちの脱けがらだった。氷の墓地の番人シャドウは、美しい女性だったが、機械の体になったあと、



ひどい後悔に襲われた。温い肌と血を失った機械人間は、昔の生身の人間に恋い焦がれる場合が多いのだ。999の食堂車に勤めるウエイトレスのクレアも、クリスタルガラスの体から、もとの人間の体を買い戻すために働いている。だがそれにしても、メーテルはなぜ氷の下の死体を見つめて泣いたのだろう。もしかしたらメーテルは……。

その時、宇宙を驀進中の999が突然、無気味な震動を起した。と、ドクロのマークをかかげた巨大な飛行船クイーン・エメラルダス号が接近、真紅の女海賊エメラルダスが999に姿を現わした。メーテルはエメラルダスを知っていた。いや知っているどころか、エメラルダスの命の恩人という。やがてメーテルから乞われるまま、時間城の現位置がトレーダー分岐点であることを告げると、エメラルダスは飛行船と共に飛び去っていた。

トレーダー分岐点……。それは999号の次の停車駅。ありとあらゆる空間軌動が一点に集まっている宇宙の大分岐点だった。そして人間や機械人間の吹きだまり、絶望の街でもあった。鉄郎は酒場の親父から鉄郎と同じ帽子をかぶる戦士トチローの居場所を聞いて、ガンフロンティア山に向った。タイタン星の老女の息子トチローは、残酷非情の人間狩りを楽しむ機械伯爵と果敢に戦っていたが、今は力尽きて、すべてを鉄郎に託すと、空電となって宇宙へ消えた。勇者トチロー、彼はエメラルダスの最愛の人だった。

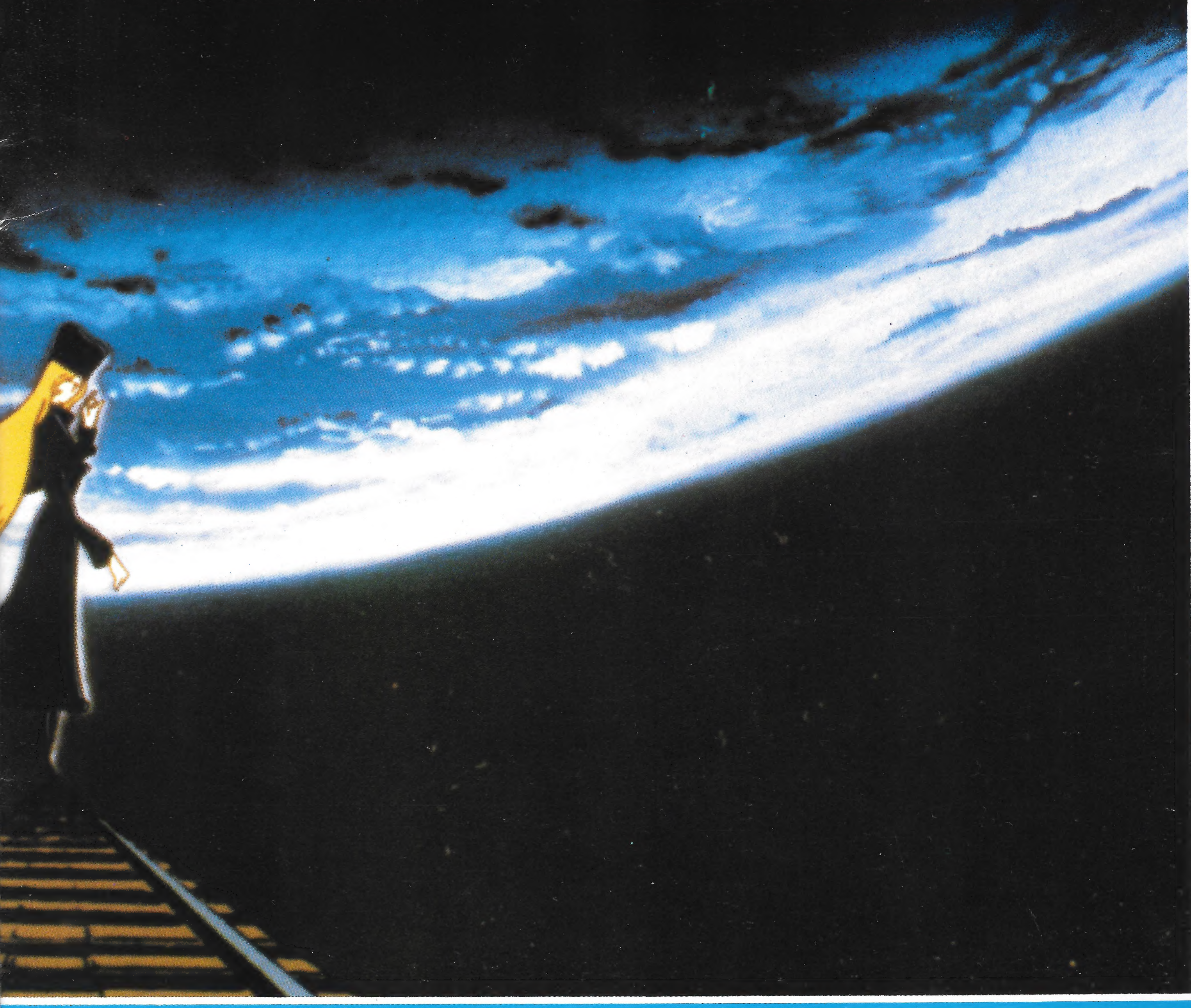
トチローの墓標に佇む金モールのマントを着た一人の男、それはキャプテン・ハーロックだった。そのハーロックは、街で機械伯爵が放った無法者の群れに襲われて苦闘する鉄郎を救った。

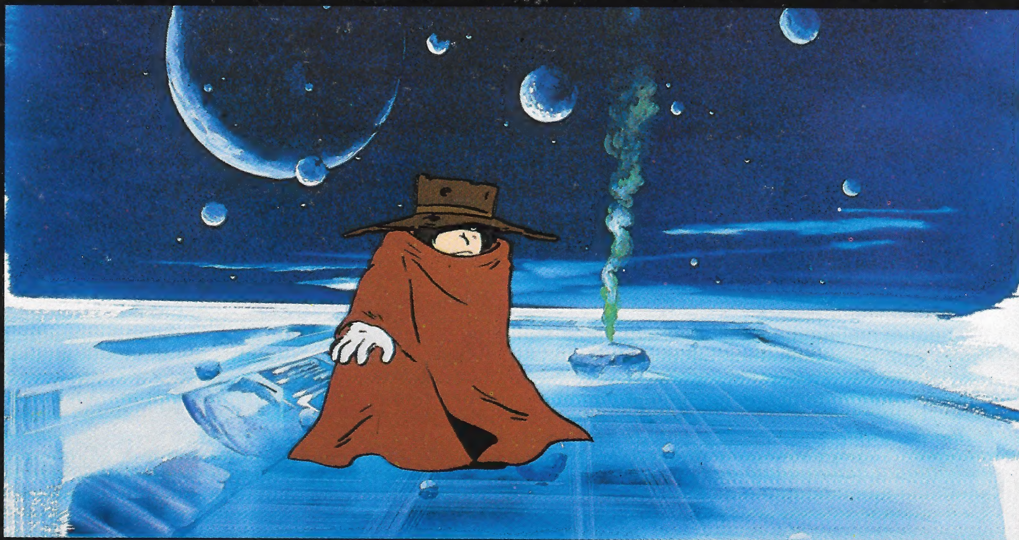
ガガーリ山の嶺、岩山の頂上に浮かぶ巨大な城のかたちをしたドクロ遊星。ようやくその時間城に潜入した鉄郎は、加勢に駆けつけた盗賊の首領アンタレスと共に戦った。体の中に沢山の不発弾を埋めこんでいるアンタレスが胸を射ち抜かれて誘発、そのなかの一発が機械伯爵の肩口を砕いた。そして鉄郎が、命乞いする伯爵の頭に銃弾を浴びせて、遂に念願の父母の仇を討った。

かくて機械伯爵は滅び去った。だが鉄郎の目的はそれでは終らない。鉄郎は機械の体を人々に与えるアンドロメダの星を破壊したかった。その星さえなければ、すべての人間はつねに人間らしく生きていられる。全宇宙のために、機械人間を滅さねばならない。こうした新しい目的を持った鉄郎は、メーテルと共に999に乗って、さらなる旅へ向う。だがそれにしても、なぜメーテルの心は哀しく、深い憂いに沈むのか。メーテルが鉄郎に愛を覚えれば覚えるほど、深まる悲しみ……。

キャプテン・ハーロック、エメラルダスに見送られて、鉄郎とメーテルを乗せた銀河列車999は、ダイナミックな機関車C－62に導かれて、大宇宙を驀進する。そして次の停車駅は……。

そこには、想像をこえたできごとが、二人を待ちかまえていた……。







メーテル

鉄郎と共に宇宙の旅を続ける美しい謎の女性。その正体は全く不明だが、鉄郎を身の危険から守る。メーテルには鉄郎の母の面影があり、常に鉄郎を優しくつつむ。

主な登場

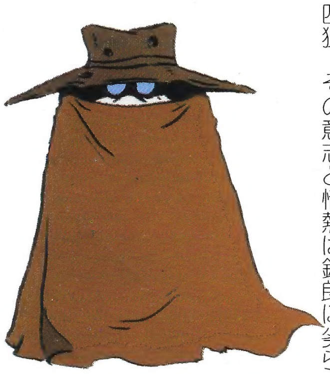


クレア



銀河鉄道999のウェートレス。透明なクリスタルガラスの体をもっている。鉄郎への愛情を熱く胸の中に秘め、ただ犠牲的に献身する礼儀正しく控え目な少女。

宇宙戦士トチロー



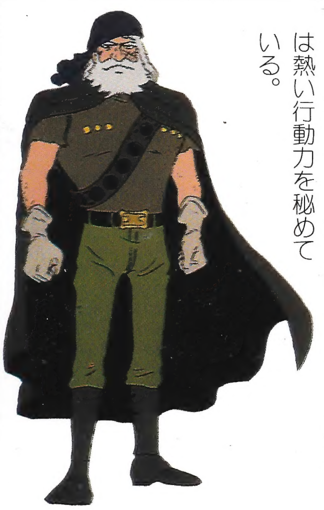
人間に危害を加える機械化人間を憎み、機械伯爵を倒すため母のもとを離れ、宇宙に旅立った一匹狼。その意志と情熱は鉄郎に劣らない。

リューズ



時間を自由に操り、老人化光線を発する機械伯爵の女。心の中では、人間の温かい血の流れていた昔の体に郷愁を感じている。

アンタレス

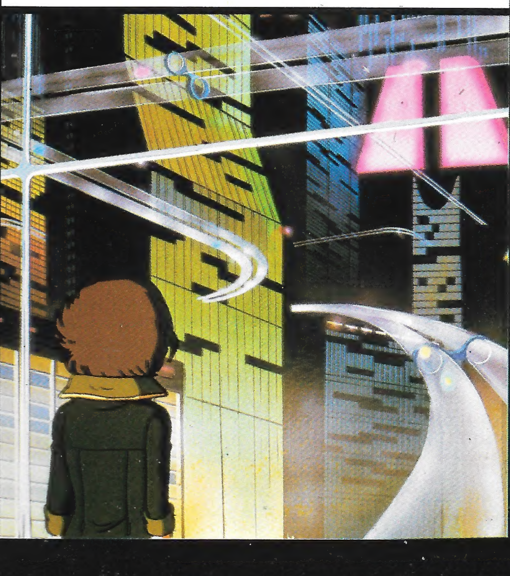


タイタン星ぶどう谷の山賊ではあるが、命をかけて機械化人間から人間の子供を守る勇敢な心優しい男。野性的で荒けずりな性格には熱い行動力を秘めている。

トリさん



トチローとハーロック以外には気を許さない聡明な鳥。主人に忠実で常になぐさめ、励ますが、ある時は非常食料となる覚悟をしている偉大なトリ。



キャラクター

エメラルダス



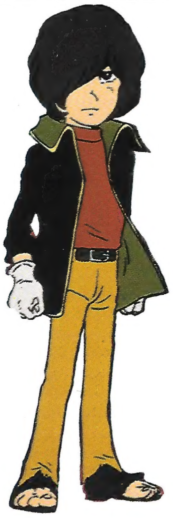
宇宙をさすらう女海賊。クイーン・エメラルダス号の艦長。挑戦的な性格と同時に、愛する人のためには身も心も捧げる優しい一面ももっている。

キャプテン・ハーロック



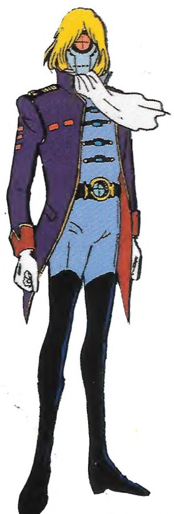
若者の憧れの英雄。四十人の海賊を従えるアルカディア号の艦長であり、賞金のかかった御尋ね者。トチローの無二の親友で、鉄郎の行動を温かく見守り、勇気を与える。

星野鉄郎



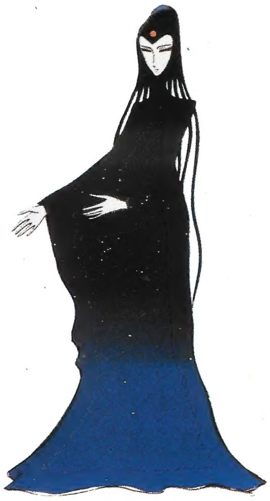
永遠の生命を求めて、美しい謎の女性メーテルと共に、果てしない宇宙に旅立つ天涯孤独の少年。この物語の主人公である。温い思いやりの心をもち、勇敢で明朗闊達な性格である。

機械伯爵



悪の権化と化した機械人間の首領。人間狩りを楽しむ冷酷な性格で、鉄郎の父母を殺した仇敵。謎の時間城の城主。

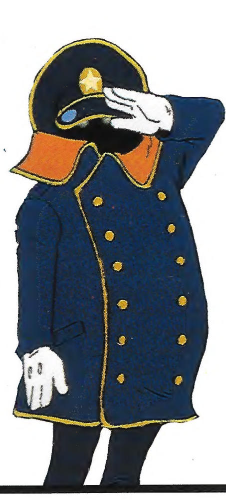
女王プロメシューム



アンドロメダ星雲の謎の女王、その正体は暗黒の謎に包まれている。



車掌

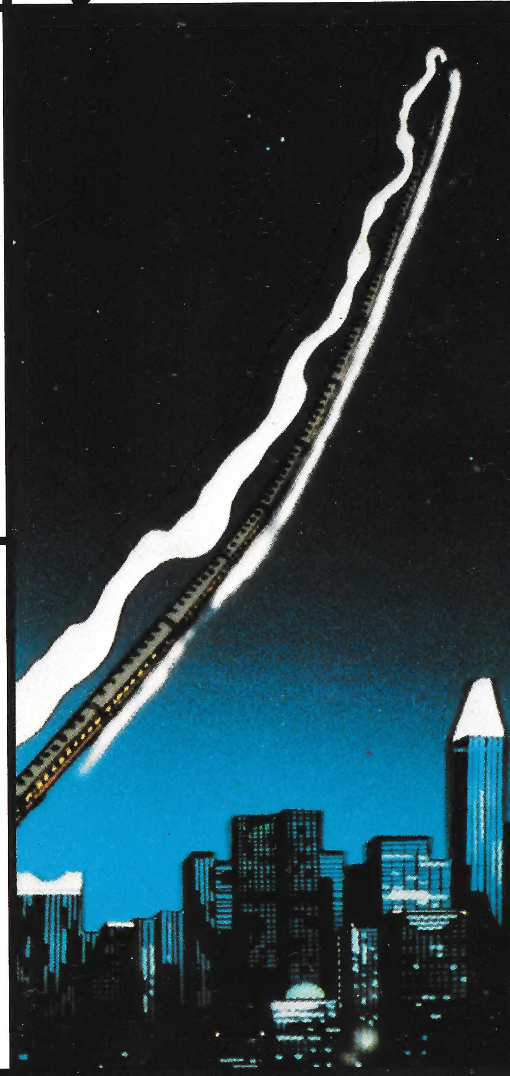


鉄郎とメーテルを乗せた銀河鉄道999号に乗務している。銀河鉄道規則を忠実に守り、たえず冷静に行動するが、クレアやメーテルの気持ちも理解する温さもある。

トチローの母



宇宙開拓者の妻。彼女自身も流浪の旅の経験があり、宇宙のきびしさを百も承知している。だから息子トチローが宇宙に出かける時も笑って送りだす度胸ある思いやりを持つ。



はじめよう、どこから。
鉄郎が見果てぬ旅をめざした時から

今よりはるかな未来の地球。機械人間がその高価で永遠の命ゆえに生身の人間を迫害していた頃、鉄郎の母も機械伯爵の人狩りで殺された。５年後、成長した鉄郎は、謎の美女メーテルのみちびきで機械の身体をタダでもらえる星をめざして銀河鉄道999に乗る。



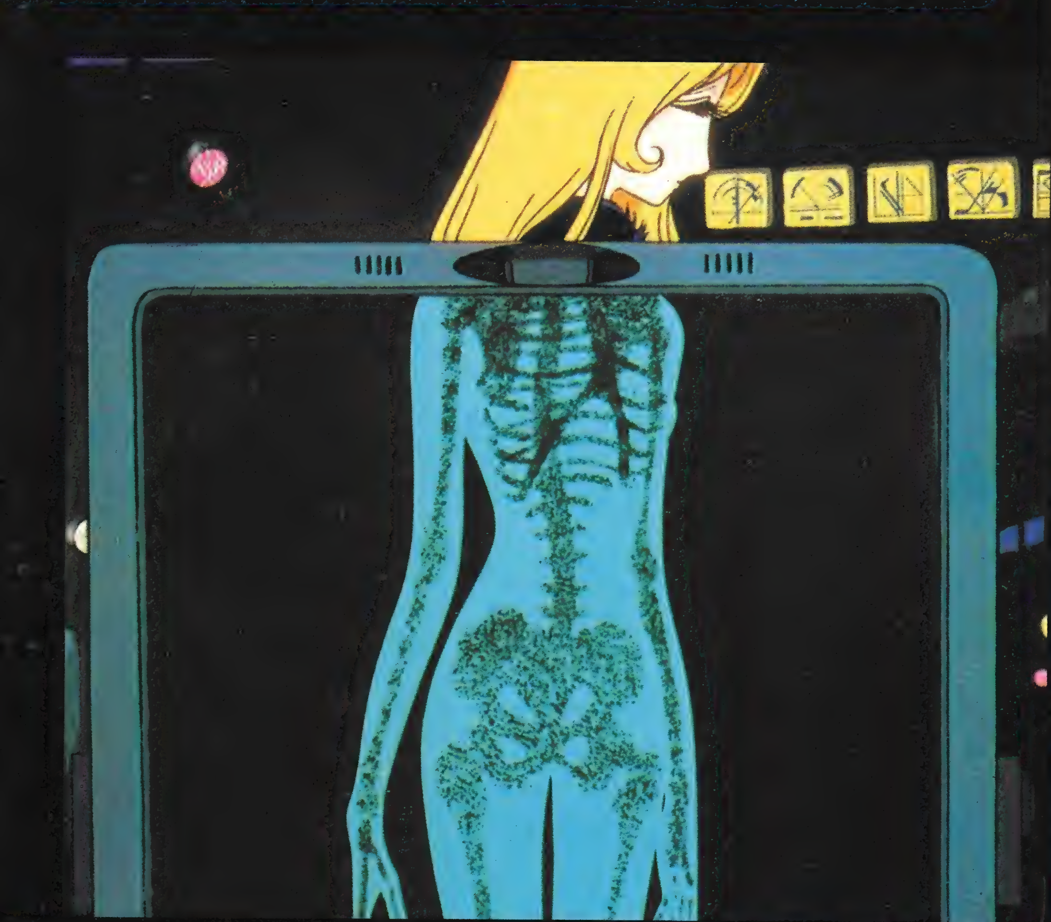



MEGAROPOLICE CENTRAL STATION

怖れるな、未知を。夢とロマンの空間軌道に待ちかまえる伝説

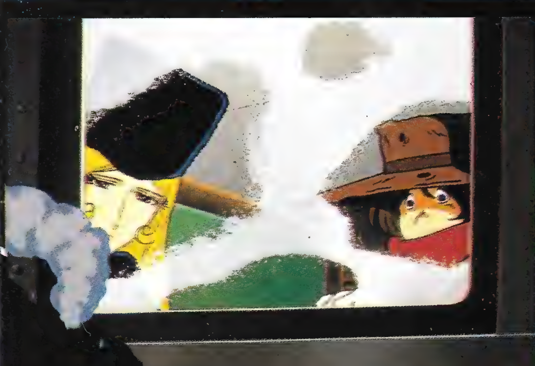
停車駅タイタンで、鉄郎は息子の帰りを待ちつづける老女や、筋金入りの男の中の男アンタレスにめぐりあう。冥王星では氷の墓の番人シャドウにもであう。永遠の命か、限りある命か。鉄郎は母のようにやさしいメーテルをしたうが、彼女の旅の目的はわからない。















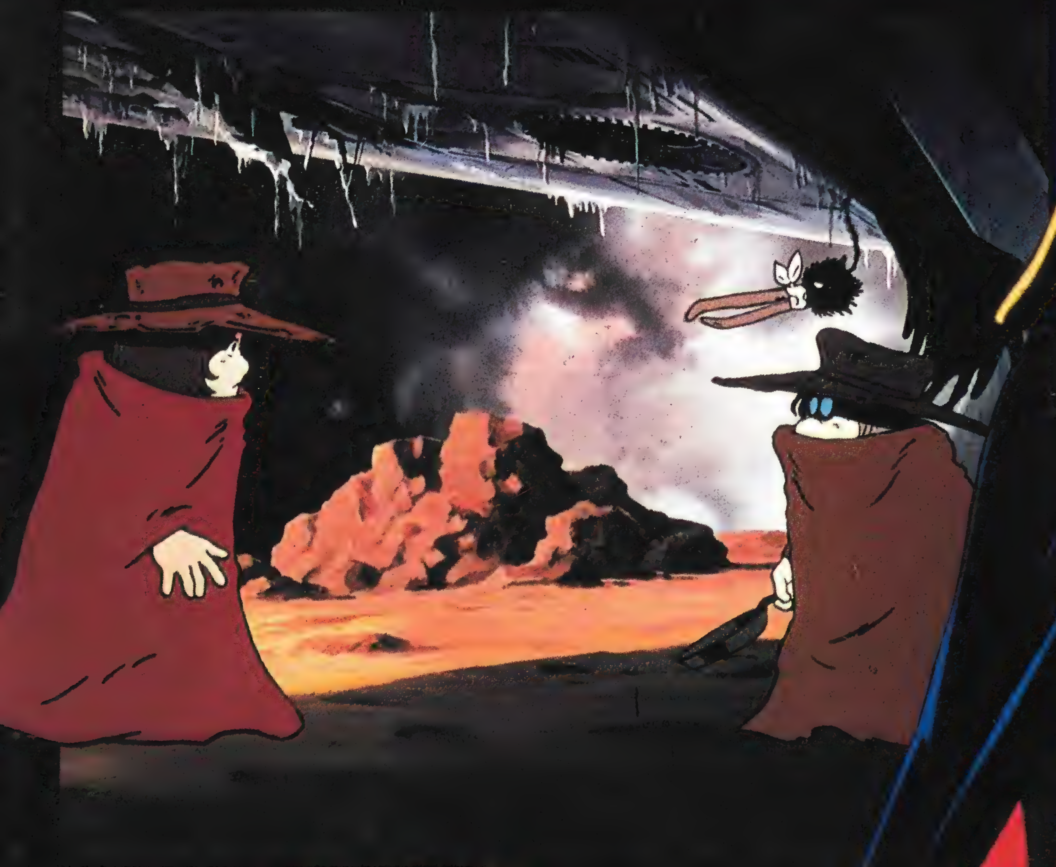




ふりかえれ、すばやく。宇宙の片隅のひそかな友情に向って

汽車の前に突然あらわれたクイーン・エメラルダス号。真紅のマントに情熱を秘めたエメラルダスは機械伯爵の居所を教えてくれた。のちに鉄郎と束の間の友情を交すトチローは、タイタンの老女の息子であり、エメラルダスの最愛の人だったが宇宙病に命を散らす。
















GALAXY
EXPRESS
999

見つめたか、いま。
思いの深さだけ孤独に耐える男の姿を

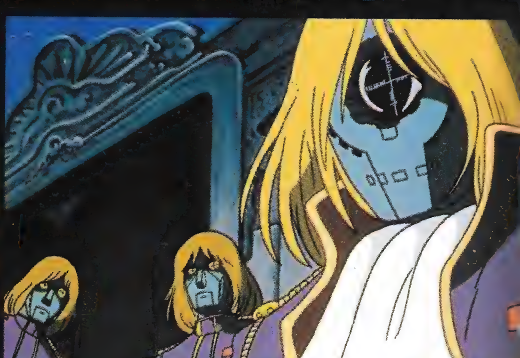
トチローの墓標の前にたたずむキャプテン・ハーロック。宇宙きってのおたずね者の心にも、火のように燃えて輝く友情があった。
そしていよいよ鉄郎は、機械伯爵の居城、時間城をつきとめ、ついに父と母の仇を討つことができた。999は終着駅へ向って走る。

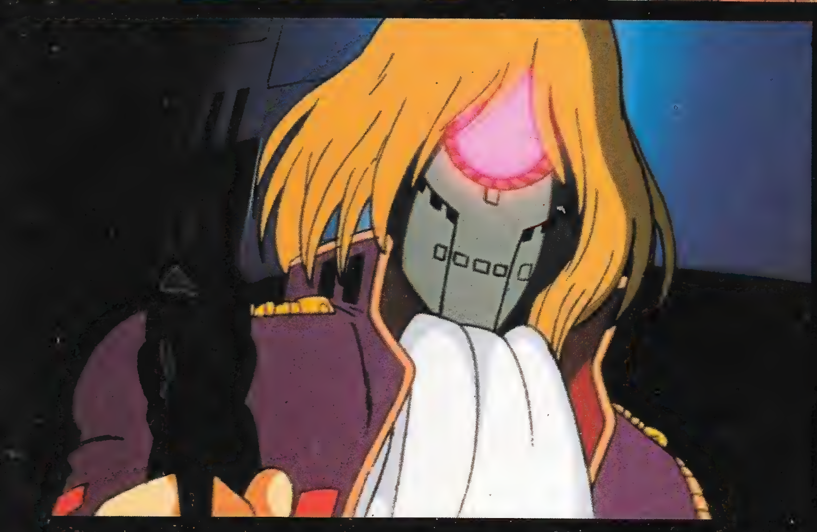
GALAXY EXPRESS 999















忘れない、いつまでも。
鉄郎の記憶に刻まれた幻のやさしさ

終着駅メーテル星は機械人間の帝国であり、メーテルは王女だった！ 鉄郎は部品として連れてこられたのか。鉄郎、ハーロック、エメラルダス、メーテル自身の叛乱で帝国は滅びる。別れ。さらばメーテル、さらば少年の日よ。汽笛と共に新しい旅立ちがはじまる…












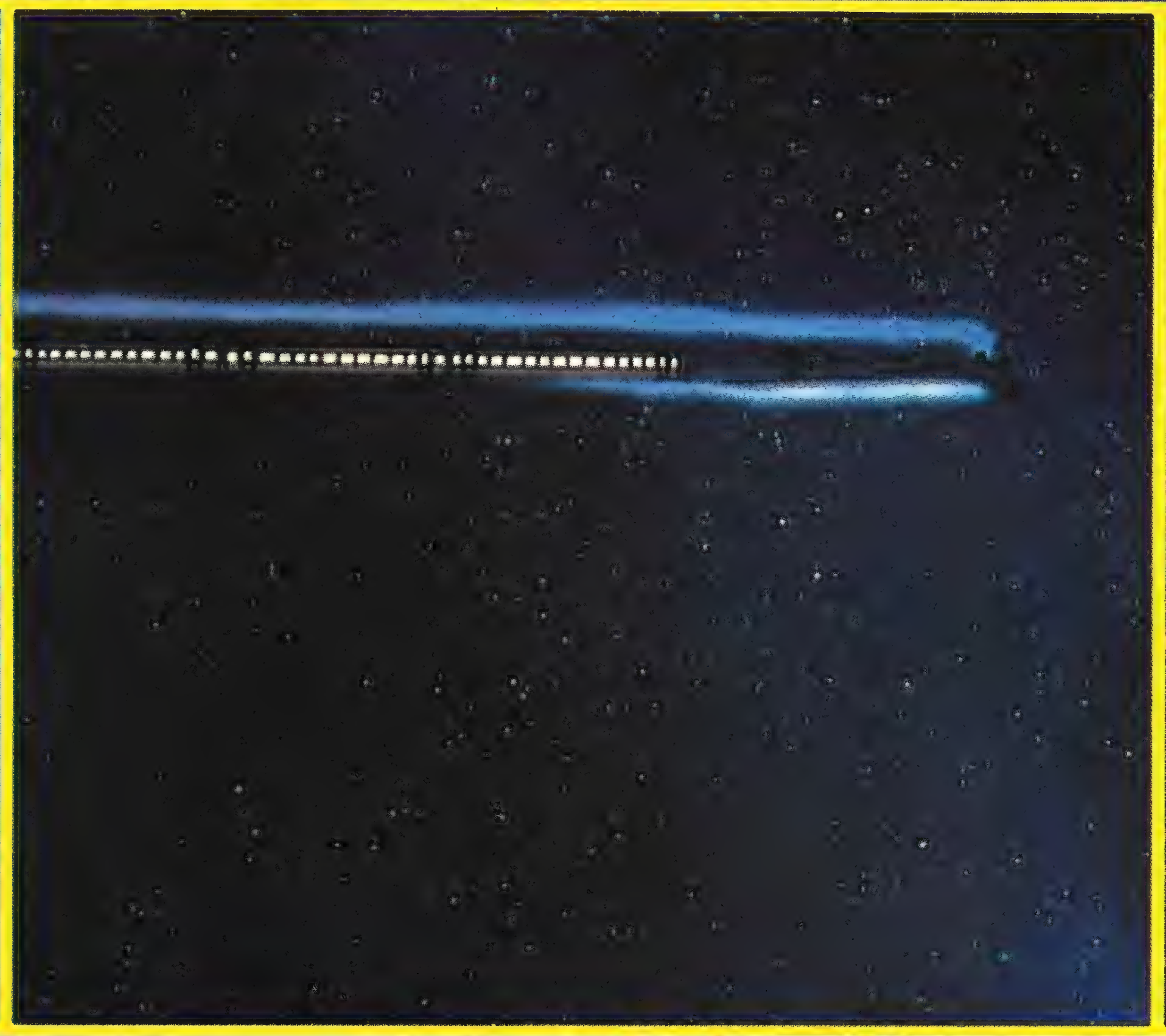
GALAXY

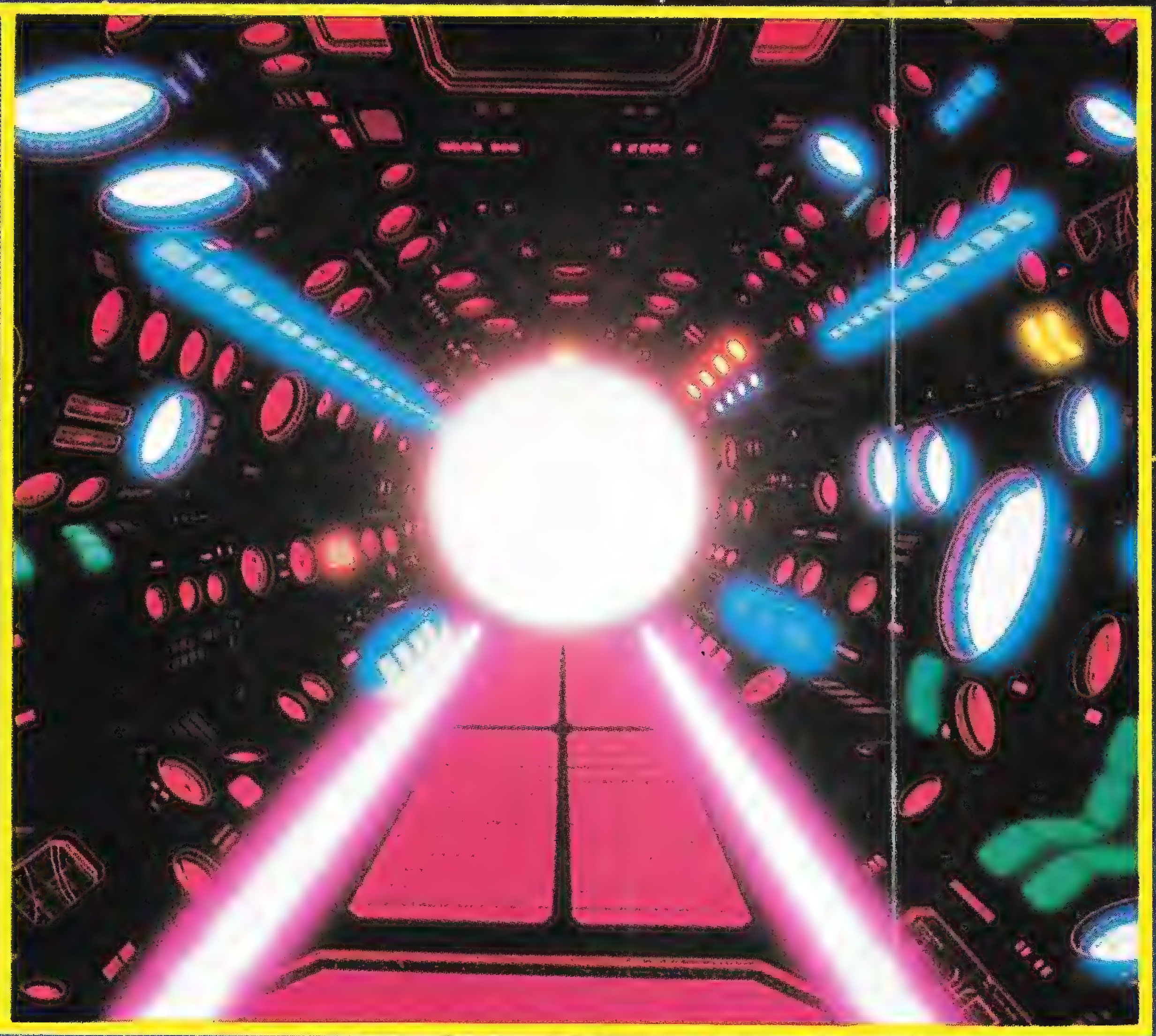
銀河鉄道999号は、地球ーアンドロメダ間を往復する超近代化宇宙列車である。
耐エネルギー無限電磁バリヤーによって防護され、その内部には、人類の知恵を超越した超近代的なメカニズムが組み込まれているが、外観は乗客の心がやすまるように、

前近代的な蒸気機関車C62-48と、昔
れている。これは最後まで残った貴
ＳＬである。
メカニズムは、外宇宙の滅亡した
人から入手した資料をもとに設計さ

EXPRESS 999







裹しい客車に仕立てら
婦人といわれる有名な


科学惑星の遺跡や異星
れた。機関部はコンピ

ューターの頭脳を持つ思考のできる機械であり、機関車は自分自身で判断しながら、定められた宇宙軌道とタイムズケジュールに従って、安全に列車を牽引する。

列車編成は、近代化された機関車を先頭に、十数両の客車（一等車と二等車）、寝台車、食堂車、娯楽車、医療車、車掌室、業務室、図書室などからなる。また、時には客車や装甲車などを増結したり、切り離したりするため、車両数は一定していない。

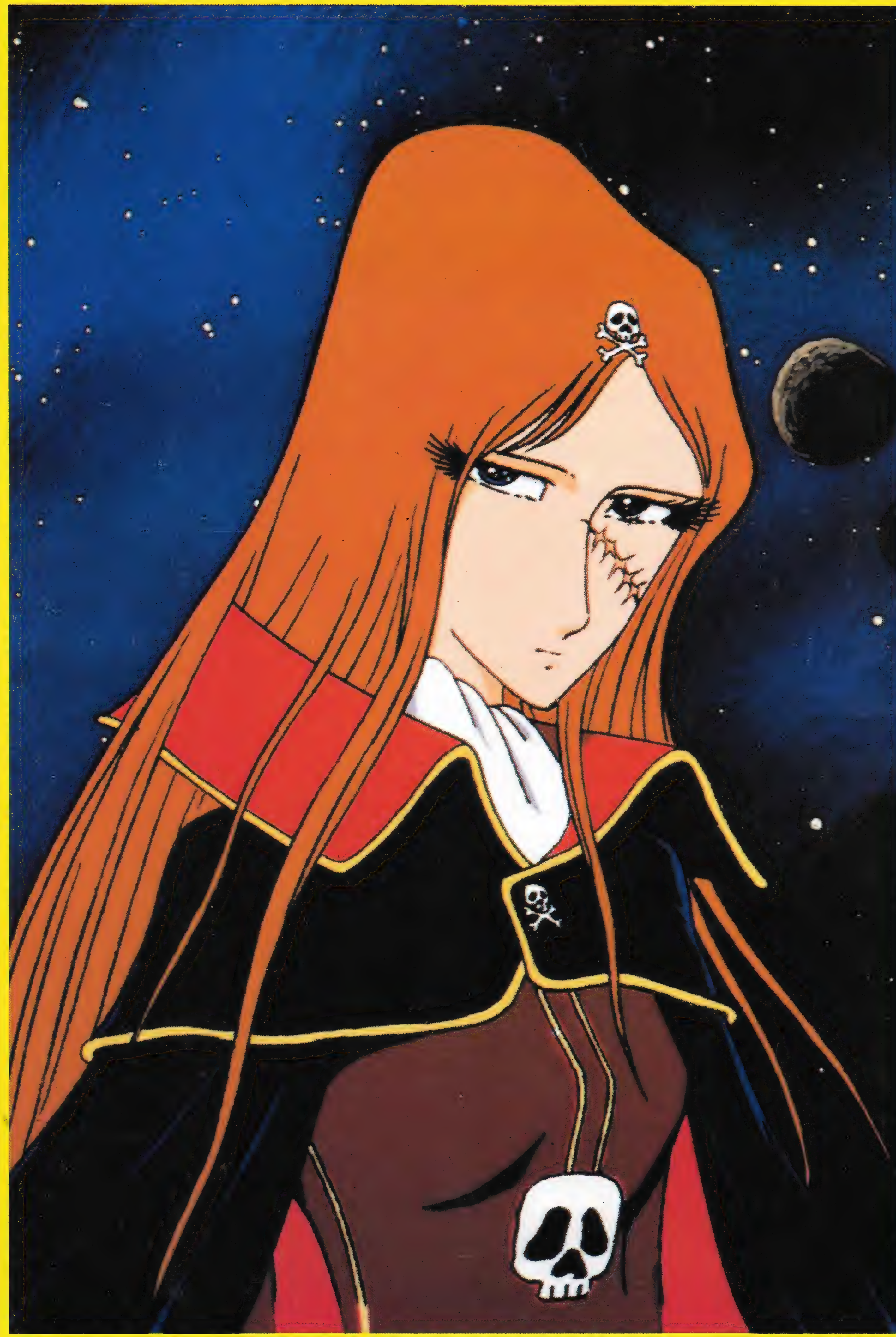
時速　3000宇宙キロ　　推力　200万コスモ馬力

動力機関　超次元機関ボイラー











壮烈!! アルカディア号とクィーン・エメラルダス号



アルカディア号

クィーン・エメラルダス号



メインスタッフ・声優からのメッセージ



企画・原作・構成

松本零士

「銀河鉄道999」は、僕自身の生涯のようなものです。これが失敗したら、自分の存在がなくなってしまうというほどのもので、一生懸命の限りを尽くしました。

出来上りは当初考えていた通りのフイルムになり、ひじょうに安心しました。ふつうは台本から本番の画に移る段階でスケールダウンするんですが、これは逆にスケールアップして、より壮大になってきました。

エンドマークは出ても、鉄郎の試練は残っていますし、999もメーテルも旅を続けているわけです。旅は終ることはないのです。少年の門出にふさわしい美しい思い出の中にメーテルは生きてます。鉄郎のこれからの人生の中で、メーテルと、あの999の驀進が渦巻いている限り、何があろうと、鉄郎自身の力強さになってゆくのです。

優秀なスタッフに恵まれて、悔いのない仕事ができました。感謝の思いでいっぱいです。



監　督

りん・たろう

近所の路地で、ごく普通に遊びまわっている少年。鉄郎も、かつての私も、そうだったわけですが、そんな日常的な少年が大宇宙へ旅立ってゆく——しかも古式ゆかしい蒸気機関車に乗ってというと、これはもう作っている側としても、夢中でのめりこんでいかざるをえません。

2時間10分という上映時間の中を鉄郎がどんな心理経過をたどって走りぬけてゆくか。いかに映像的に面白く展開してゆけるか。これが私の課題であって、製作中は奮闘苦闘の日々の連続でした。成果は見て下さったあなたの判断しだいです。

熱狂的な松本零士ファンの皆さんには、ハーロック、エメラルダス、999と、それぞれのファンが納得し、満足できるような構成の大河ドラマに工夫しました。

アニメの歴史を塗りかえる映画になった、と、ささやかに(!?)自負しています。



監　修

市川 崑

私が「銀河鉄道999」の主人公の鉄郎少年より、少し年長だった頃、アニメーションの仕事をしていたことがあります。まだ、トーキー漫画といわれていた時代です。

人手がないので、ストーリーの考案から、シナリオ、キャラクターの設定、コンティニュイティ、作画、撮影、編集と、すべての工程を自分ひとりでやったこともありましたが、そんな時、私はもっぱらウオルト・ディズニーの〈ミッキー・マウス〉や〈シリー・シンフォニー〉のフイルムを借りて来て、その一コマ一コマを克明に分析研究したものです。このことから私は、映画の本質というものを学んだような気がします。

「銀河鉄道999」は、原作者の松本零士氏の凛冽なロマンの精神が、素晴らしいイマジネーションで提示されている作品ですが、映像化の監修者としては、かつての体験を生かし、アニメーション独自の面白さに溢れた活力のある映画になるように心がけました。



野沢雅子
(星野鉄郎)

松本先生の想いが全てこめられている「銀河鉄道999」——私もこの作品に賭けています。現実から離れているようで、どこかで現実とつながったファンタジー。行けそうで行けない夢の世界に、ふと錯覚をおこして入りこめるような魅力が大人にも感じられるはずです。とにかく素晴らしい映画です。鉄郎といっしょに遥か未来に旅してほしい、という気持でいっぱいです。



麻上洋子
(クレア)

クレアは母親の見栄で、クリスタルガラスの身体にされてしまいます。鉄郎をとても好きだということをはっきり言えずに、最後に死ぬ寸前に「好き」ってやっと言える、そういう微妙に抑えて何かを語る女の子です。

人間には油断して話してはいけないような部分がある気がします。私はクレアの中に、常に緊張して常に震えているような感性——哀しみの中の強さにひかれました。



井上真樹夫
(キャプテンハーロック)

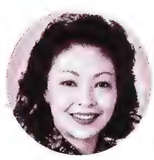
僕も、ハーロックのような男らしい生き方に共感してあこがれています。あのきびしさを自分に課してゆくというのは、かなり大へんなことで、本当にああいう生き方ができたら素晴らしい。

鉄郎に対して徹底的に友情をつくす——今の人間に失われがちの友情と信頼を支える強い意志。原作のハーロック固有のイメージをこわさず、なおかつそれをこえるようなイメージの声に苦心しました。この歴史的アニメに参加できて光栄です。



久松保夫
(アンタレス)

アンタレスのキャラクターは、肉体的にぼくより身体が大きくたくましい男ですので、どうだろうかと思ったのですが、なんとかうまくこなせました。野太い声で、ということで共通点があったのでしょうが。松本零士さんのひとりひとりのキャラクターにこめられたヒューマンなものが、沢山の人に支持されればと願っています。



来宮良子
(プロメシューム)

機械人間の中の女王的な役ですので、あまり人間的(!?)でない無機質な声の私が選ばれたのでしょう。もともと低い声をしておりますので、トーンを落しますと、続きません。無理せず普通にやりました。ふだんの生活では想像できない素晴らしいロマンになるのを祈っています。お話は完結しましたが、汽車は今でも走り続けているでしょう。



富山 敬
(宇宙戦士トチロー)

トチローというのは、面白いキャラクターで、もう一寸出番があると良かったなあ。物足りない感じがします。コスチュームに大分とまどいましたが、大へん楽しかった。松本先生の分身らしく、やさしさと真面目さと夢にあふれています。

スタッフもキャストも、これだけ熱を入れて、必死でやっていますから、ぜひとも大成功してほしいですね。



池田昌子
（メーテル）

今まで声優として出演してきた作品の中で、この「銀河鉄道999」が私の一番好きな作品です。メーテルをTVシリーズで、ずっと演じてきて、だんだん自分の身近に感じるようになってきました。
映画では、一応の結末まで明らかになるわけですが、メーテルの正体がわかっても、それでもやはり魅力があると思っていただくために余計に頑張りました。



肝付兼太
（車掌）

TVと比較して、生真面目さプラスややコミカルな部分が少しふくらんできた感じがします。彼は銀河鉄道の旅の中で、鉄郎とメーテルのことをいつもじっと見つめているわけです。メーテルには美しいあこがれを、鉄郎には親しみの感情を、持っていると思うのです。当然しっかりと見つづけていて、だから、目だけが光っているんだと思います。アニメを見たことのない大人にも、必ず見応えのある映画です。



田島令子
（クィーンエメラルダス）

ラジオとレコードの「銀河鉄道999」には参加しましたが、アニメは初めて。アフレコもこれが初めて。以前からの松本先生の大ファンで、特に女性像の美しさにあこがれていました。松本先生の理想のヒロインのひとりを演ずることができて幸福です。
アニメといえば、私の時代では、ディズニー「眠れる森の美女」など連想しますが、「銀河鉄道999」は、新しい時代の新しいファンタジーとして期待しています。



城 達也
（ナレーション）

僕のナレーションが、映画全体の流れの中で異和感がないように、すんなり溶けこめるようにと、気を使いました。宇宙空間のひろがりが出れば、お役に立てたと思います。
今までTVでやっていたものが、劇場用に新たに装いをこらして公開される。子供たちにまた別のちがう世界を、劇場で体験させるというのは意義が大きいと思います。

●スタッフ

製作総指揮……今田智憲
企画・原作・構成……松本零士
企画……有賀健
〃……高見義雄
製作担当……横井三郎
脚本……石森史郎
作画監督……小松原一男
美術……椋尾篁
〃……窪田忠雄
音楽……青木望
監督……りんたろう
監修……市川崑
作画監督補佐……角田紘一
原画……兼森義則
〃……稲野義信
〃……及川博史
〃……友永和秀
〃……風間恵美子
〃……真鍋譲二
〃……金田伊功
〃……井口忠一
〃……堀川留子
〃……桑原玲子
〃……中島忠二
〃……小泉謙三
〃……的場茂夫
〃……河村信道
〃……高橋英吉
メカニック・デザイン……板橋克己
動画チェッカー……新井豊
動画……江野沢柚美子
〃……岸本良子
〃……相原信洋
〃……保谷由佳
〃……松村啓子
〃……加藤良子
〃……上野茂々子
〃……多田康子
〃……三原武憲
〃……清野浩美
〃……原則子
〃……栗原玲子
〃……立川明代
〃……福田忠
〃……田辺智
〃……半田由利
〃……小泉恵子
〃……高橋愛緒
〃……佐藤豊
〃……高橋清治
〃……小松良江
〃……岩井美登理
〃……小幡公春
〃……河野宏之
〃……早原ゆみ子
〃……永井恵子
〃……奥田万理
〃……今井正彦
動画……山田徹
〃……玉沢君子
トレース……チーフ 坂野園江
〃……サブ 五十嵐令子
彩色……古屋純子
〃……村田邦子
ゼログラフ……富永勤
〃……茂木明子
特殊効果……堰合昇
〃……佐藤章二
仕上検査……森田博
〃……小椋正豊
美術補佐……山川晃
背景……中村靖
〃……加藤隆文
〃……松宮正純
〃……川村静子
〃……中山益男
〃……山口あきら
〃……村本健治
〃……下茂恵美子
〃……石垣好晴
記録……池田紀代子
製作進行……加藤雄治
〃……陶山佳枝
仕上進行……平賀豊彦
美術進行……鳥本武
監督助手……大関雅幸
〃……吉沢孝男
進行主任……関口孝治
撮影……福井政利
〃……片山幸男
編集……花井正明
〃……大熊泉
録音……二宮健治
効果……松田昭彦
録音スタジオ……タバック
現像……東映化学
オリジナル・サントラ盤……コロムビア・レコード
宣伝プロデューサー……徳山雅也
デザイン・レイアウト……原美恵子
宣伝……メイジャー・エンタープライズ
製作……東映動画株式会社
配給……東映株式会社
挿入歌
「銀河鉄道999」「テイキング・オフ！」
作詞 奈良橋陽子・山川啓介
作曲 タケカワ ユキヒデ
編曲 ミッキー吉野
歌・演奏 ゴダイゴ

「やさしくしないで(リューズの唄)」
作詞 中原葉子
作曲 中村泰士
編曲 青木望
歌 かおり くみこ

●キャスト

鉄郎……野沢雅子
メーテル……池田昌子
クレア……麻上洋子
車掌……肝付兼太（きもつきかねた）
ハーロック……井上真樹夫
エメラルダス……田島令子
トチロー……富山敬
リューズ……小原乃梨子
機械伯爵……柴田秀勝
シャドー……藤田淑子
酒場主人……槐柳二（さかいちりゅうじ）
鉄郎の母……坪井章子
ドクターバン……納谷吾朗
プロメシューム……来宮良子
トチローの母……麻生美代子
アンタレス……久松保夫
ナレーター……城達也

＊製作こぼれ話

■徹夜の連続！準備稿までに三ヵ月

「銀河鉄道999」の映画化が決定してからが大変な作業。シナリオ執筆にあたり、企画・原作・構成を担当する松本零士氏を中心に、脚本の石森史郎氏、監督のりん・たろう氏、プロデューサーの高見義雄氏が、静岡の旅館にカンヅメになって、構成、設定プランの打ちあわせから始った。閉じこもって仕事するのに、なにも静岡まで行かなくてもと思うのがふつうだが、静岡なら遊ぶところもなくて、さまざまな誘惑にのることはないという発想だとか。お陰で仕事がはかどったかどうか、とにかく、松本零士氏による構成メモはレポート用紙200枚に及び、それをもとに、徹夜の打ちあわせを重ねること数週間、準備稿まで３ヵ月を要した。

■SL探して東奔西走！スタッフにSL博士も誕生

ＳＬが宇宙を行くという、夢とロマンあふれたすばらしいストーリーを、最高のアニメで作りたいと張り切ったのがメイン・スタッフの面々。作画監督の小松原一男氏、美術監督の椋尾篁氏をはじめとするスタッフは、ＳＬを最大限に忠実に表現しようと、手わけして連日交通博物館や青梅の鉄道公園、上越にあるＳＬホテル、さらにはＳＬが動態保存されている京都の梅小路機関区にまで足を伸ばして資料集めに大奔走。おかげでＳＬに関しては、ちょいとした博識ぶりを発揮できるまでになったとか。スタッフのひとりは、夢の中にまでＳＬが出て来て、昼間でもアタマの中をＳＬがユゲをたてて走ってると嘆くことしきり。

■アニメ史上初の新方式を開発！

「銀河鉄道999」こそ、東映動画20年を記念すべき作品にと、技術スタッフも新技術開発にとりくんだ。今までのアニメにはない奥行きと広がり、深みをもった画面を作ろうと、撮影監督の福井政利氏も全力投球

そのため、レインボー・フィルターという新しいレンズをアメリカからとりよせ、アニメ史上初の試みであるレインボー透過光特殊撮影に挑戦した。これはフィルターの角度をかえることによって、七色のさまざまな色が発光し、それが映像の効果を倍化させる方式で、すばらしい画面ができ上るというもの。

また、ふつうのアニメと違って、この作品に関しては、背景の絵もすべて大判に描いているのが特長だ。ふつうサイズのものだと、カメラがよったり、アップにすると粒子が荒れて画面がざらついてしまうからだ。大判だと全体にふくらみ、深みが出て、全体的に大きいイメージに仕立てあがるというわけで、予想以上に素晴らしい映像が出来上った。

「宇宙の広がったイメージは、これまでの最高のデキ」と福井氏も自画自讃している。（写真左下）

■松本零士さんが「999」に出演!?

映画の中にスタッフのだれかがワンカット出演しているのが時々あるが、有名なのはヒッチコック監督。それにあやかって、というわけではないが、「銀河鉄道999」の中にも、なんと！原作者の松本零士さんが出てくる。トレーダー分岐点にある酒場で、グラマーな女性に抱かれて、オイオイ泣いているのがそれ。これは、スタッフがいたずら心をおこして、本人の知らない間に入れてしまったもので、あとで分った松本零士さんは「やめてくれぇ～、みっともないよ～」と叫んだが、あとのまつり。しかし、上映時間の関係で、短かくしなければならない時は、まっ先にカットする約束はしたけれど、果たして今日、あなたが見た映画の中にありましたか？（写真下段の中央）

■２分のシーンに１ヵ月！

製作中いちばんの難作業は、SL-C62の機関車が宇宙を行くシーン。果てしなく広がる大宇宙空間をダイナミックに走る（飛ぶ？）ＳＬは、動きが本物と同じようなリアル感を出すため、念入りにかきこまれることが要求された。しかも、ＳＬの走りだけでワンカット２分という長いカットはざらで、その部分のセルだけで、1500枚も必要となった。おかげでそのカットの担当原画家は、作画完了まで１ヵ月もかかったという。

■アフレコ最中に泣きだしてNG続出！

６月下旬、３日間にわたりアフレコが行なわれ、スタジオにはこの映画のキャラクターの吹き込みをする20人近い声優や徹夜を続けてきた監督、松本零士さん、その他スタッフ一同が勢揃いした。

いままでにない素晴らしいアニメを作ろうとはりきるスタッフでスタジオは熱気ムンムン。アフレコがはじまって３日目。いよいよラストシーン。メーテルと鉄郎の別れの吹きこみがはじまった。その時、あまりの感動のためか、メーテル役の池田昌子さんと鉄郎役の野沢雅子さんが突然オイオイと泣きだしてしまい、セリフにならず録音が中断されるというハプニングがおこった。

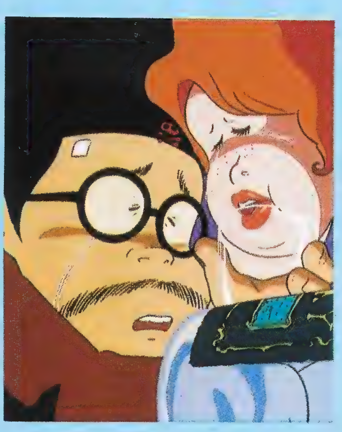
それを見ていたまわりのスタッフも思わずもらい泣き。しばし、感動の渦でスタジオ中、シーンと静まりかえるという、光景が展開された。おかげでその日のアフレコの終了時間が３時間もおそくなり、おわったのは夜中の３時だった。本当におつかれさま。

■張り切るゴダイゴ！大ヒット間違いなし

主題歌を吹きこんだ「ゴダイゴ」は、「ガンダーラ」160万枚、「モンキー・マジック」100万枚とたて続けにヒットをとばして、今や人気グループNo.１。そしてこの映画の主題歌を吹きこむことになり大張り切り。ミッキー吉野は「とにかくすばらしい曲なので、ゴダイゴ最高のヒット曲にしたい」と、春先から始まった全国縦断コンサートの演奏曲の中に早速とり入れ、映画ＰＲに一役買うほどの熱の入れよう。

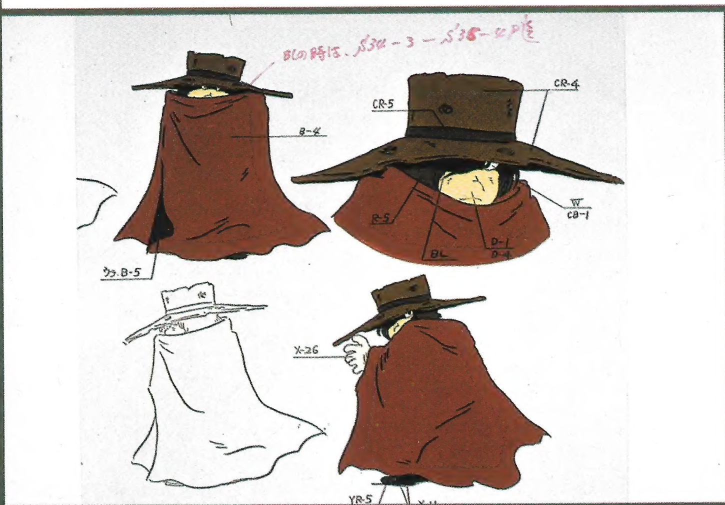
'79年の夏は、「銀河鉄道999」と「テイキング・オフ！」の２曲が、ヒット・チャートにのることまちがいなしだろう。

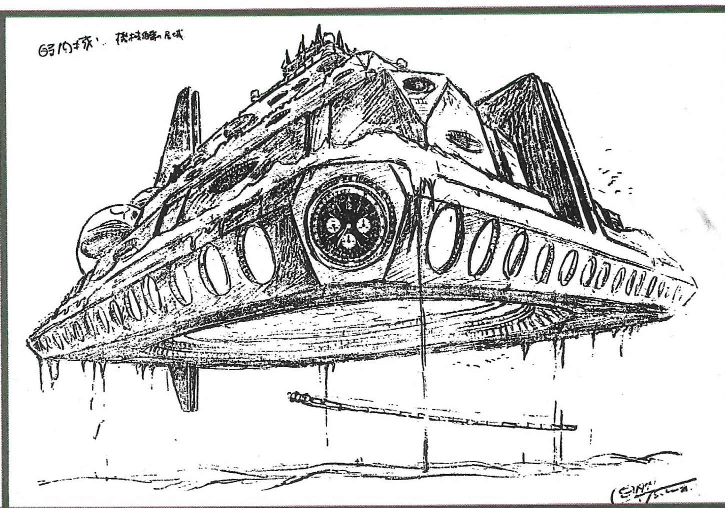


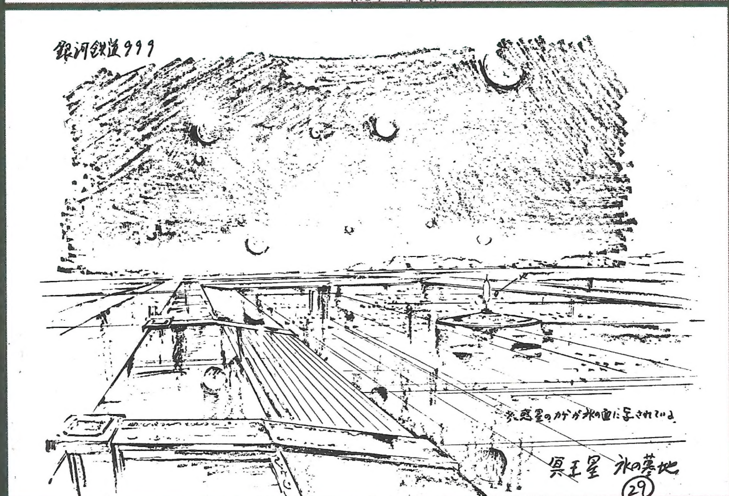


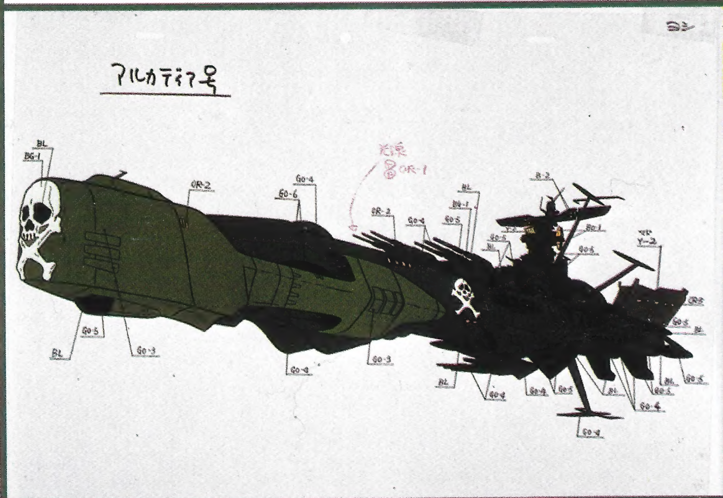


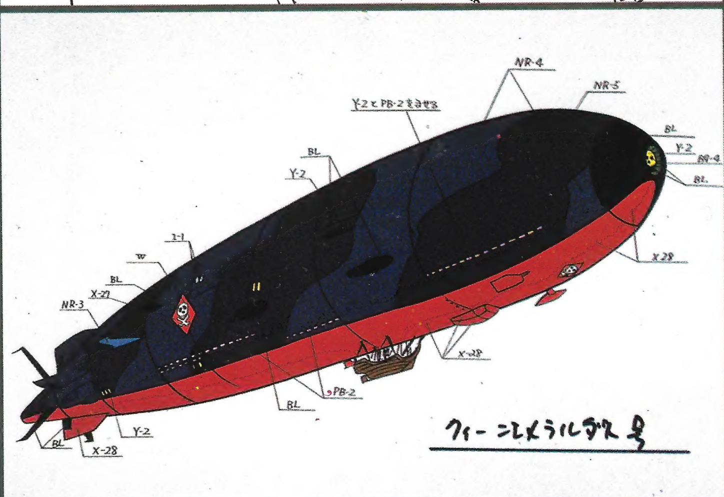
メカ、キャラクターの設定資料

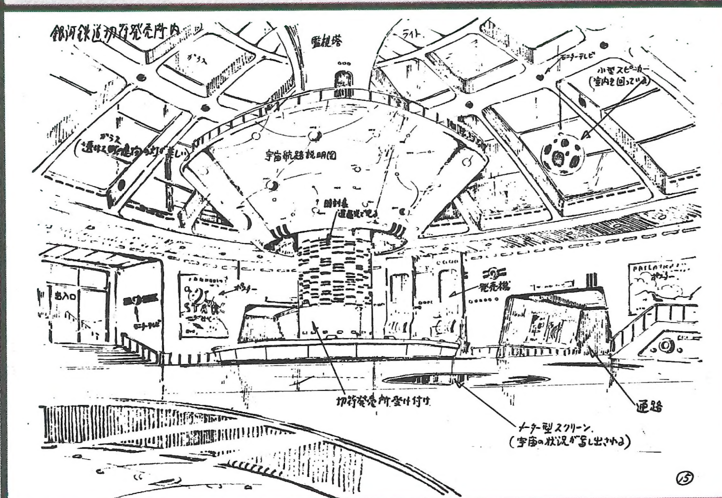


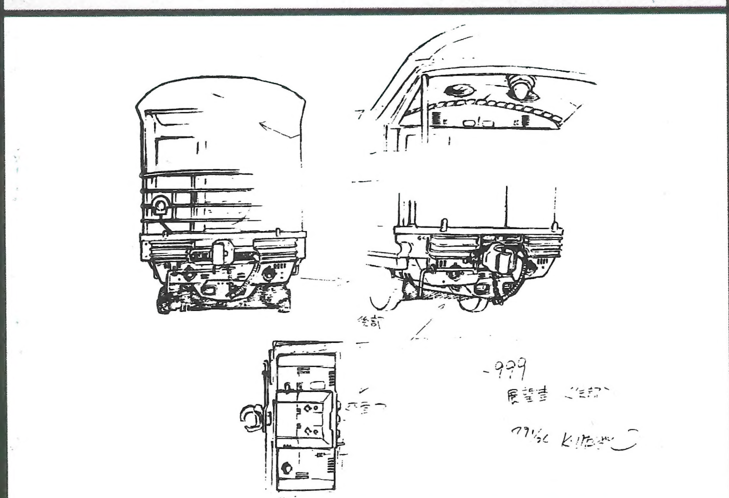


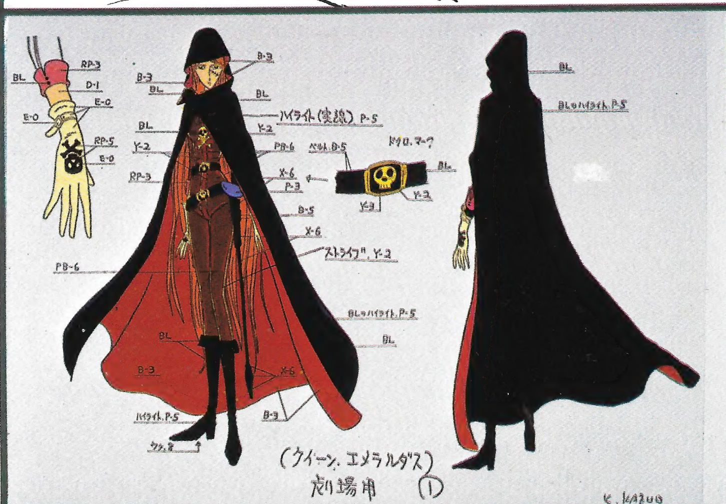






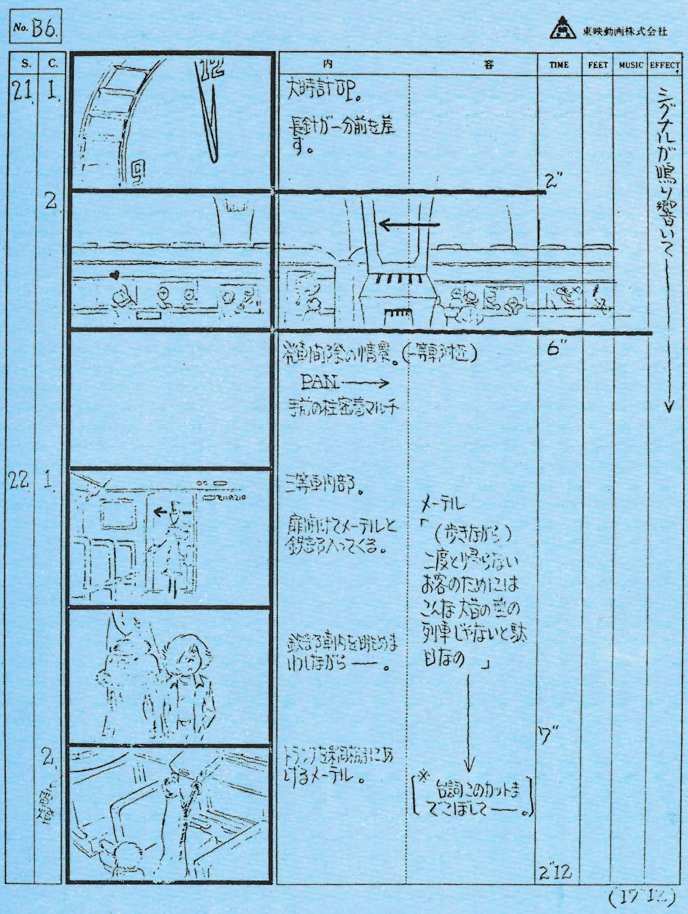




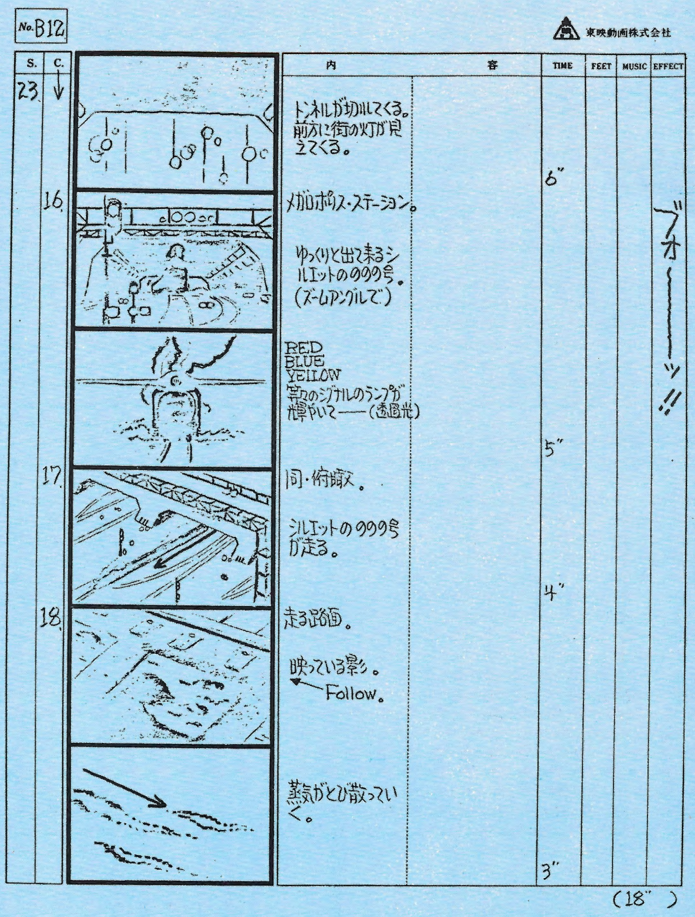


映像はここから生まれた！(絵コンテ紹介)

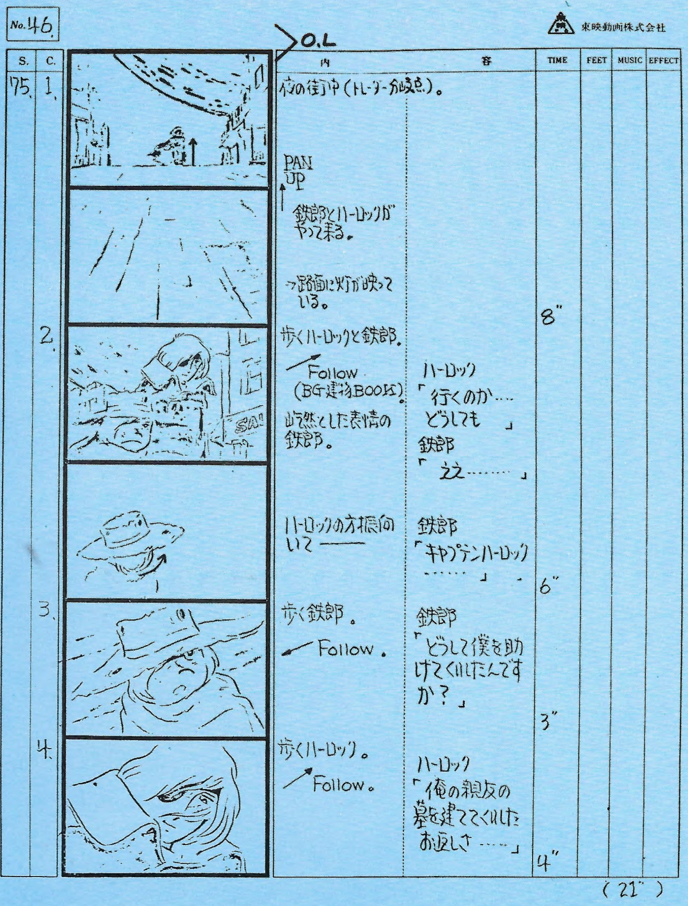
↓メーテルと鉄郎が999にのりこむシーン



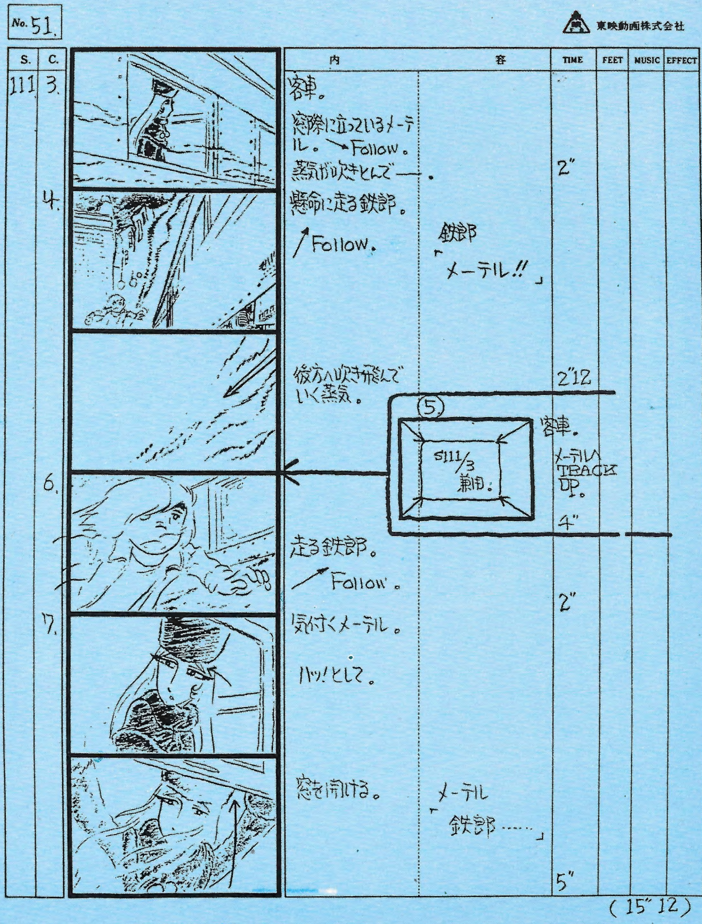
↓999号が地球を旅立つシーン



↓トレーダー分岐点でのハーロックと鉄郎の出逢いのシーン



↓メーテルと鉄郎、別れのラストシーン





銀河鉄道999
THE GALAXY EXPRESS 999

作詩　奈良橋陽子、山川啓介
作曲　タケカワ・ユキヒデ
編曲　ミッキー吉野
歌　　ゴダイゴ

さあ行くんだ　その顔を上げて
新しい風に　心を洗おう
古い夢は　置いて行くがいい
ふたたび始まる　ドラマのために
あの人はもう　思い出だけど
君を遠くで見つめてる
☆The Galaxy Express 999
Will take you on a journey
A never ending journey
A journey to the stars

そうさ君は　気づいてしまった
やすらぎよりも　素晴しいものに
地平線に消える瞳には
いつしかまぶしい男の光
あの人の目がうなづいてたよ
別れも愛の一つだと
☆Repeat……
☆Repeat……

テイキング・オフ！
TAKING OFF

作詩　奈良橋陽子、山川啓介
作曲　タケカワ・ユキヒデ
編曲　ミッキー吉野
歌　　ゴダイゴ

明日（あした）の汽笛が君にも　聞こえるだろう
汗ばむ夢の切符を　握りしめろ
年老いた大地を　思いきり蹴って
星たちの彼方へ　さあ飛び立て
I'm leaving, I'm flying
I'm taking off to the unknown
新しい星をさがすんだ
☆TAKING OFF TAKING OFF
誰も行かない未来へ

若さが光を追いぬき　走りつづける
自由をたたえ広がる　まぶしい闇
君だけを待ってる　何かがあるはず
美しい銀河の　消える果てに
I'm leaving, I'm flying
I'm taking off to the unknown
見慣れたきのうは　ふりむくな
☆Repeat
☆Repeat……



GODIEGO
ゴダイゴ

少年からやがて大人になってゆく――誰でもが、一度はそういう時期を通りぬけます。青春前期の若者が、ひたむきに何かに向けてぶつかってゆく――たとえそれがどんなに未熟であっても、サマにならないものであっても、その姿はすがすがしく、心を洗うものにちがいありません。
僕らのサウンドが、どれだけ９９９号のスピード・アップに力があるのか、わからないけれど、僕らは僕らなりに、青春の素晴らしさ、悲しさ、ほろ苦さを精一杯表現しました。
〈銀河鉄道９９９〉より愛をこめて――さあ、君も未来へと向う９９９号に乗ってみませんか。

発行　東映株式会社映像事業部　450円


GALAXY EXPRESS 999